

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成28年5月12日 (2016.5.12)

【公開番号】特開2015-140320(P2015-140320A)  
 【公開日】平成27年8月3日 (2015.8.3)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-049  
 【出願番号】特願2014-14517(P2014-14517)  
 【国際特許分類】

C 0 7 K 1/14 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

G 0 1 N 1/28 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 1/14

G 0 1 N 33/48 B

G 0 1 N 33/68

G 0 1 N 1/28 J

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月17日 (2016.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ペプチドと血中タンパク質との複合体を含む液体試料と、 $Zn^{2+}$ 、 $Ca^{2+}$ 、 $Li^{+}$ 、 $Ba^{2+}$ 、 $Mg^{2+}$ 、 $Mn^{2+}$ およびこれらの金属イオンの何れかを生じる金属化合物からなる群より選択される少なくとも 1 つを含む試薬とを混合することにより前記ペプチドを前記血中タンパク質から遊離させる工程と、

遊離した前記ペプチドを回収する工程と、  
 を含む、ペプチドの回収方法。

【請求項 2】

前記液体試料と前記試薬との混合液を加熱処理する工程をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記加熱処理が、液体試料中の前記ペプチドが熱によって完全には変性しない条件で行われる請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記加熱処理が、マイクロ波照射によって行われる請求項 2 または 3 に記載の方法。

【請求項 5】

混合後または加熱処理後に形成された沈殿物を混合液から除去して、遊離した前記ペプチドを回収する工程をさらに含む請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

前記液体試料が、血液、血漿または血清である請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7】

前記ペプチドが、前記生体によって生成されたペプチドまたはその断片である、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の方法。

## 【請求項 8】

ペプチドと血中タンパク質との複合体を含む液体試料と、 $\text{Zn}^{2+}$ 、 $\text{Ca}^{2+}$ 、 $\text{Li}^{+}$ 、 $\text{Ba}^{2+}$ 、 $\text{Mg}^{2+}$ 、 $\text{Mn}^{2+}$ 、およびこれらの金属イオンの何れかを生じる金属化合物からなる群より選択される少なくとも 1 つを含む試薬とを混合することにより前記ペプチドを前記血中タンパク質から遊離させる工程と、

遊離した前記ペプチドを検出する工程と、  
を含む、ペプチドの検出方法。

## 【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の方法に用いられる試薬であって、

$\text{Zn}^{2+}$ 、 $\text{Ca}^{2+}$ 、 $\text{Li}^{+}$ 、 $\text{Ba}^{2+}$ 、 $\text{Mg}^{2+}$ 、 $\text{Mn}^{2+}$ 、およびこれらの金属イオンの何れかを生じる金属化合物からなる群より選択される少なくとも 1 つを含む試薬。